

# 電友会四国連合会報

第 45 号

59. 1



## 目次

年頭にあたって.....	四国電気通信局長.....二
年頭のごあいさつ.....	電友会四国連合会長.....三
愛媛電友会総会.....	.....三
電徳島温古会総会.....	.....三
扶養控除等申告書.....	.....四
共済会だより(三五).....	.....四
OBサークル便り.....	.....四
電電OB大学(一般教養科)史跡探訪	.....
電電OB秋季軟式庭球大会(愛媛)	.....
秋の叙勲.....	.....六
電信電話記念日の表彰.....	.....六
電気通信産業功労者の表彰.....	.....六
訃報.....	.....六
随筆.....	.....六
猪谷 嘉夫 井上ひろし 越久田保之	.....
大西 瓶子 馬木 重美 梶原 照彦	.....
後藤 稔	.....
表紙のことば.....	.....八
編集後記.....	.....八

## 年頭にあたって

四国電気通信局長

小川 伸 夫



電友会の皆さま、  
明けましておめで  
とうございます。  
皆さま方には、  
ますますご健健で  
佳い新春をお迎え  
のこととお慶び申

しあげます。

旧年中は、公社事業につきまして格別のご  
協力ご支援を賜り、心から感謝申しあげます。  
電友会は、発足以来十六年目を迎え、年を  
重ねるごとに、ますます発展を続けられ、ま  
ことにご同慶にたえません。

さて、私も電気通信事業につきましては、  
皆さま方諸先輩の献身的なご努力によって、  
幾多の困難を克服しながら、設備の拡充とサ  
ービスの改善に努めてまいりましたが、その  
結果、今や加入電話は全国で四千二百萬加入  
を越え、四国では百四十五萬加入というネッ  
トワークが形成されるまでに成長いたしました。  
また、情報社会の進展に伴ってデータ通  
信やファクシミリ通信等の多彩な非電話系サ  
ービスも急テンポで拡充発展をつづけており、  
産業、経済活動、社会生活の中で欠かせないも  
のとなつております。

情報社会といわれる今日、電気通信に対す  
る社会の要望は、ますます高度化・多様化し  
てまいりました。公社では、このような情勢  
を踏まえ、昨年は新しい商品、サービスとし

て、各種の電話機の発売やファクシミリ通信  
網サービス、音声照会通知システムの提供な  
ど地域社会の要望に応えてまいりました。

また、昨年七月には、五五、五六年に続き  
三回目の値下げ、いわゆる三二〇kmを超える  
遠距離通話料の値下げを実施し、ご利用しや  
すい料金、よりよいサービスの実現に努力を  
いたしてまいりました。

私もは、今後も新しい商品やサービスの  
普及拡大を図ってまいります。今年、自  
動車電話を松山及び高松地区においてサービ  
ス開始するのをはじめ、テレテックス（文書  
作成と伝送の機能を持つ装置）等の販売等に  
ついては計画をしております。また、市外局  
番をダイヤルしないで通話できる区域（閉番  
号域）の拡大など、地域サービス格差の是正  
にも努めます。さらには衛星通信用車載局を  
配備し、災害時等において通信衛星を利用し  
た通信回線確保を図ることとしております。  
きたるべき二十一世紀は、「高度情報社会」  
といわれております。公社では、社会基盤と  
しての電気通信のより一層の高度化が不可決  
であると考え、現在、「高度情報通信システ  
ム（INS）」の形成に全社的に取り組んで  
おります。

ご案内のとおり、このINSは、光ファイ  
バーやデジタル技術等によって通信網をす  
べてデジタル化して統合し、料金の遠近格  
差を是正しつつ、いつでも、どこでも、より  
便利で豊富な電気通信サービスをご利用いた  
だくため建設を進めているものであります。

四国におきましても、INSの基幹となる  
光ファイバーケーブルの敷設工事を松山一高  
松間で実施しているのをはじめ、松山電話局  
におきましてはデジタル交換機の建設工事

を鋭意行っており、四月から六月にかけて完  
成いたします。この光ファイバーケーブルは  
将来、日本の骨格伝送路として重要な役割を  
果たすこととなります。

このように、INS基盤の早期形成に向け  
て、四国でも着実にその歩みを始めているわ  
けであります。昨年は「光通信時代」の幕あ  
けを造る年でありましたが、今年昭和五九  
年はいよいよ実用段階の第一歩をふみ出す記  
念すべき年に当たるものと考えます。

ところで、昨今の公社をとりまく経営環境  
は、一段とその厳しさを増しております。経  
営形態問題をはじめ、本電話機開放、中距離  
通話料金の値下げ案等大きな課題がございま  
す。しかし、電気通信事業は、お客さまのご  
理解とご協力を得てはじめて存立しうる事業  
であります。従って私どもは、「世の中の役  
に立つ事業であること」を常に発想の原点と  
して日々の事業運営を行い、サービスの維持  
・改善に努めてまいります。

そのため、利用者の皆さまのご意見・ご要  
望に積極的に耳をかたむけ、これを事業に反  
映する広聴活動、町の電話局づくりとしての  
地域社会活動などのいわゆるオンライン  
活動をさらに充実させるよう努めてまいり  
存でございます。

電気通信事業を愛され、深い関心とご理解  
をいただいている先輩の皆さま方には、ぜひ  
とも地域社会と電電公社の接点として、ご支  
援願うとともに、旧年にも増してご指導、ご  
鞭撻を賜りますれば幸甚に存じます。

終わりになりましたが、皆さまがたのます  
ますのご健康とご多幸並びに電友会のご繁栄  
を心からお祈り申しあげ、私の年頭にあた  
つてのごあいさつといたします。

## 年頭のごあいさつ

電友会四国連合会長  
泉 節太郎

明けましてお芽  
出とうございます。  
電電OBの皆さん、よいお年をお  
迎えになりました  
か。どうか今年も  
お元気で、幸せに  
お過ごし下さるよう、先づ以て、お祈り申し  
上げます。

かねてから噂されていた年金統合問題も、  
さきの第一〇〇回臨時国会において、国家公  
務員等共済組合法の可決により、国鉄、電電、  
専売の三公企体共済組合と、国家公務員共済  
組合とが、統合されることになりました。そ  
してこの新法律は、今年四月一日から実施と  
いうことになっております。

この法律によると、今後われわれのもらう  
共済年金は、すべて国家公務員並となります。  
そのため、統合された受給者の年金を新基準  
によって、再裁定することになっております。  
但し、この法律には経過規定がありまして、  
現在の年金受給額が、再裁定による算出額を  
超過する場合、新法実施と同時に減額するこ  
とはしない。が、年々のベースアップによる  
増加額と、再裁定による算出額との合計が、  
現在の受給額に到達するまでは、増額のない  
まま、足踏みをしてもらう、ということにな

っております。

したがって、現在受給者である電電OBは、  
一応既得権は確保されたわけでありますが、  
ここ何年間かは、増額なき年金で、我慢をし  
なければならぬわけでありまして、

なお年金の統合は、これで終わったわけでは  
なく、政府は地方公務員、海員等の共済年金、  
国民年金、厚生年金との統合をも考えており、  
これらの統合は、昭和七十年実現を目前に、  
準備を進めつつあるようであります。そして  
最終的には、年金の最高額を、現就職時代の  
最後の年の年間収入の六十％程度に抑えたい、  
また、一人の人間が二つ以上の年金をもらう  
ことのないよう、統合調整を行いたい、と  
も言っております。

三公社と国家公務員の共済年金の統合は、  
窮迫した国鉄の年金財政の救済のためだと言  
われておりますが、すべての年金の統合計画  
は、高令人口のますます増加するわが国にお  
いては年金財政の困窮化と、その財政を支え  
る現職組合員の掛金負担の重圧という問題  
解決のためだと言われております。

このように、年金に関しては、将来明るい  
展望は望み難いものがあります。  
そこでわれわれ受給者として、考えなければ  
ならないことは、健康で、医者にかかる必  
要もなく、しかも心豊かに生きられるよう配  
意することではないかと思ひます。  
そういう意味で、どうか今年もご健康で、  
幸せにお暮し下さるようお祈りいたします。

## 愛媛電友会総会

「よい、あんたも来たんかえ、久しぶりじ  
やのう。」「……お互い元気で何よりじゃ  
のう、結構々々。」、大会場に懐かしい談笑  
が満ち溢れる。

白いものがふえ、あるいは薄くなり、皺は  
ふえても、元氣そのものの顔、顔、顔……

四〇〇名にのぼる多数の参加を得た第二二  
回総会は、十一月一〇日午前一〇時から、松  
山郵便貯金会館において開催。

泉会長のあいさつにつづいて、来賓の羽藤  
榮市先生、西野愛媛通信部長からご祝辞を頂  
戴し、さらに一色愛媛通信部次長からは、オ  
レンジラインについての講和が行われた。

物故会員への黙祷、新会員の紹介、長寿者  
への祝金贈呈などのあと、議事に入る。

五十八年度会務、会計報告の承認、五十九年度  
事業計画案、予算案の可決も、堀内議長の名  
さばきにより、スムーズに進行、新役員を選  
出して、正午すぎ無事大会を終了した。

ことしから愛媛電友会主催となった昼食会  
は午後一時開宴、ささやかながらも、飲むほ  
どに酔うほどに、さすがの大会場も爆笑の坩  
堝と化した。つきぬ名残りを惜しみつつ、  
来年の再会を約して午後二時散会した。(高  
市記)

## 電電徳島温古会総会

五十八年度の定期総会は、去る十一月二十  
二日午前十時から市内阿波観光ホテルにおい  
て、会員約一六〇名の出席のもと開かれた。

冒頭物故会員に黙祷を捧げ冥福を祈った後、

豊崎会長のあいさつ、続いて波頭通信部長のあいさつに、公社の経営形態の動向、INSの概要、宅内端末機器類の販売に対する今後の課題などについて約四十分になりお話をいただき、会員一同大いに啓蒙され認識を深めた。新顧問、新会員の紹介後、喜寿、古稀会員に記念品を贈って祝意を表した。ついで幸田広男氏を議長に選出して、議事に入り五十八年度業務報告、同会計報告及び五十九年度業務計画案が、それぞれ承認議決された。役員改選には、豊崎会長の再任を議決して正午閉会となる。

午後零時三十分から会場を三階に移して、懇親パーティーを開催、来賓として波頭通信部長を初め県下の報話局長など公社幹部のご臨席をいただいで、賑やかに歓談に花が咲き、和気あいあいの裡に懇親を深め、また旧交を温めた。(越久田)

扶養控除等申告書

年金を主たる収入としている方は、扶養控除対象者の有無、年齢、にかかわらず、申告書を四国電気通信局職員部厚生課共済係へ提出して下さい。

提出期日は一月十日です。

申告書余白には、年金証書記号番号と、自宅の電話番号をお忘れなく記入して下さい。また確定申告の期間は、二月十六日から三月十五日までです。該当する方は最寄りの税務署に申告を行なって下さい。

共済会たより (三五)

電気通信共済会四国支部

福祉相談所

○電電OB大学一般教養科

日程表によりつぎのとおり実施しました。

▽五八・九・九(金)松山市番町公民館  
講師 愛媛葉草愛好会会長

演 題 「老人と健康」  
宮内 信雄氏

出席者 五十一名

▽五八・一〇・二〇(木)  
文化財めぐり 新居浜市  
瑞応寺、別子銅山記念館外

出席者 五十名

▽五八・一一・一一(金)一二(土)  
史蹟探訪 北九州方面  
耶馬溪、羅漢寺、宇佐八幡宮外

○文化講演会

出席者 三十二名

▽五八・九・一九(月)、徳島市蚕糸会館  
講 師 NHK徳島放送局長 篠宮 幸男氏

演 題 「世相を考える」  
出席者 百五十名

▽五八・一一・七(月)高松電信電話会館  
講 師 高松通信病院健康管理部長 小笠原 坦氏

演 題 「健やかな毎日のために」  
出席者 六十五名

○サークル活動援助  
一九サークルに対し、下半期分として、

合計六二八、八〇〇円の援助を、五八・一〇・二〇に行った。

○余技作品展の開催について  
つぎにより、本年度も作品展を行いますので多数ご出品ください。

一 開催期日 五九・二・三(金)一〇(金)

二 開催場所 共済会四国支部

三 種 目 絵画、書、写真、俳画  
やきもの、手芸、盆栽など

四 出品締切 (搬入)五九、一月末まで

五 その他 出品者に粗品進呈

六 問合せ先 共済会四国支部福祉相談所  
(〇八九九一三二一三三三二二)

(誤りの訂正)前号会報(四四号)六頁の下段、終りから四行目の約六〇〇万円とあるのは、約六〇〇〇〇万円の誤りであります。お詫びして訂正いたします。(編集渡部)

電電OB大学(一般教養科)

史蹟探訪に参加して

上 田 昇

一〇月二〇日、心配していた前日の雨もかりと晴れ、国道一〇号線を西条市へ向う。車窓から見る桜三里の紅葉は、まだちょっと早いようである。

西条藩陣屋跡に到着。現在陣屋跡は、西条高等学校になっているが、校門となっている大手門、門脇の堤、前濠の石崖、大矢来、濠等に昔の面影が偲ばれる。

大手門の左手奥まったところに西条市立郷土博物館と愛媛民芸館がある。

郷土博物館の自然資料室には、鉱物、岩石

貝、一般動物、植物、化石が多数展示されて  
いた。

「この水晶はきれい!!」「きらきら光るの  
は金かしら」「この蝶は大きくて気持が悪い」  
などの声が聞える。

人文資料室では、出土品、古文書、郷土偉  
人像、書画幅、色紙短冊、歴史的道具、古銭、  
藩札類が展示されていた。

「千両箱って重たいな」「小さな大砲だ」  
と、友人同志ではなしあっている。ときどき  
「カン、カン」と、石を打つ音がする。

丁度、「昭和の西条文人展」が併設されて  
いた。

。十河信二氏（元国鉄総裁、第二代西条市  
長、故人）の額「温故知新」

。猪川 耐氏（歌人「国民文学」同人、  
「短歌春秋」著者、九〇才）の色紙

何となく月照れる夜のたのしきは  
吾の齡とかかはりありや

。岡本達一氏（第五代西条市長、故人）の  
幅書「仏心」 等々

墨痕あざやかに、強いところ、やさしさ、  
墨の濃淡、かすれたところ、白と黒が調和し  
ている。「あ、あのように書けたらな」と  
感心する。これで入場料二〇円也、団体割引  
では一〇円だつて、現今、このような入場料  
のところは何処にあるだろうか、スリッパの  
破損料にもならんのではないだろうかと心配す  
る。（だが、もうすこし照明が欲しかった。  
料金の関係でしようか）

隣りの愛媛民芸館に入る。パンフレットに  
よると、「ここは美術館でも郷土館、物産館  
でもありません。有名な人の作品や骨董品、

珍品などもならべてありません、昔から現代  
にいたるまで民衆のなかで、親切にもちのよ  
いことを願って数多くつくられたもの、もと  
より民衆が求める値段のもので、日常の生  
活の場で使われた道具の類『民衆的工芸品』  
が、その中心です」と。

私の目についたのは「かすり」の模様。藍  
の色と白（これも純白でなく、古びた白）の  
美しさであった。

和紙細工やさしこなど売店で売っていた。  
この見学をすませて新居浜市のホテル白  
鳥別館で昼食をとり、別子銅山記念館に行く。

玄関を入るとロビー正面に「大鉛」が展示  
してある。大鉛の説明のなかに、「別子銅山  
大鉛の歌」が書いてあった。

「いまの旦那さんよ 末代御座りや  
鉛にや 歩が増す 人が増す  
飲めよ 大黒 歌えよ 戎子  
間で酌取れ 福の神 （以下略）

折角のこと、小さい音でメロディーを流し  
てくれたらよかったのに、歌詞だけでは、歌  
のよさは、わからない。昔、山の人々が酒を  
飲みながらよく唄ったのであろう。

「別子銅山は、元禄三年（一六九〇）九月  
の大露頭（鉱床の地表露出部）の発見から始  
まる。元禄四年（一六九一）九月二二日採鉱  
開始、製銅焼吹き作業（焼がまによる製錬作  
業の第一次工程）は、同年一〇月二〇日から  
開始され、年末までに約一九・二トンの産銅  
をみる。ここに住友事業の根幹となった大別  
子銅山が誕生したのである」と書かれている。

一つ一つ読んでいたのでは、一時間や二時  
間の見学時間ではすまされない。前の人につ

いて、するするとすすむ、一応、製銅までの  
工程、工具類など理解することが出来た。昔、  
この銅山に一万数千人の人々が働いていて、  
松山、今治について三番目に人口があったと  
か……。

太陽が照り輝き、童話の「太陽と風」では  
ないが、上衣を脱がされ、汗ふきふき端応寺  
へ。

山門をくぐると大きな堂宇が正面に、左手  
に座禅堂、右手に庫裏がある。修業僧が忙し  
そうに大祭の後始末をしている。

「端応寺は、文安五年（一四四八）生子山  
城主松木越前守景村公の建立によるものであ  
るが、天正一三年（一五八五）の役に生子山  
落城の兵火にかけ戦後再建されたが、また  
文政一一年（一八二八）焼失の厄にあつて  
いる。明治三〇年曹洞宗専門僧堂開設、禅門修  
行の名刹として世に知られるに至った」と。

また、ここには、目通り八・五層、高さ二  
七層、樹令八〇〇年と推定される大銀杏が、  
本堂の左手に聳えている。（県指定の天然記  
念物）

句帳を開き「大銀杏……」とか「蓮池や  
……」とでもメモしている風流人がいた。  
午後三時端応寺をあとに帰路のバスの人に  
なる。楽しい史跡探訪の一日であった。

### 電 電 OB 秋季軟式庭球大会（愛媛）

秋晴れの十一月十九日(堀之内市宮コート  
において恒例の昭和五十八年度電電OB秋季  
大会を開催した。

一年中でこの大会の時にだけラケットを握  
る人、よく練習をしている人、それぞれであ

るが、いざ試合をしてみるとそれ程差はないようである。昔とった杵柄と云うことであろう。終って例会兼懇親会を開き叙勲を受けられた横山竹義、古稀の木村利一両氏に対し記念品の贈呈があり和やかに解散した。

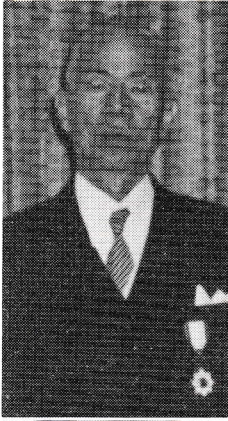
- なお試合成績は次のとおり
- 一位 田内 内藤組
  - 二位 三好 酒井組
  - 三位 福山 溝田組
  - 四位 小松 木村組
  - 五位 吉村 二宮組

(木村記)

### 秋の叙勲

昭和五十八年秋の叙勲に際し、左記の方が、多年にわたり電気通信事業に貢献されたご功績により叙勲の栄に浴されました。

ここからお喜び申しあげます。  
勲五等双光旭日章 横山竹義殿(松山)



横山竹義氏

### 電信電話記念日の表彰

昭和五十八年度の第三回電信電話記念日(十月二十三日が日曜のため二十四日式典実

施)に、次の会員の方々に感謝状が贈られました。

おめでとうございます。

四国電気通信局長表彰

(長年にわたり電気通信事業発展に尽力)

赤 刎 正殿 (松山)

喜 田 鎮 雄殿 (高松)

志 摩 廣 幸殿 (徳島)

### 電気通信産業功労者の表彰

五十八年十一月二十三日東京都千代田区霞が関、霞が関ビル、東海大学校友会館において、電気通信産業功労者として、社団法人電気通信協会会長から、次の方が表彰されました。

おめでとうございます。

山 地 秀 雄 殿 (多度津)

### 訃 報

次の方が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り致します。

氏 名	死亡月日	行年	所 属
往田 祐一殿	58・9・27	八一	松山
筒井進一郎殿	58・9・29	七七	松山
都築 勝平殿	58・3・30	五八	松山
山本 久寿殿	58・10・22	七七	高知
森尾 桂子殿	58・10・27	五五	高知
大原 万造殿	58・11・10	七七	丸亀
庄野為三郎殿	58・11・13	八九	徳島
阿部 増美殿	58・11・14	七三	松山
橋本 進殿	58・11・16	五八	板野
吉見 春雄殿	58・11・29	八一	宇和島

### 随 筆

(欧州紀行) (五)

オリエント急行

猪 谷 嘉 夫 (高松)



オリエント急行の歴史は古く百年前の一八八三年に、パリからトルコのイスタンブールまで開通し、後にロンドンへ延長されたが、一九七七年に惜まれながら姿を消した。一昨年五月に装いを新たにし、ベニス・ロンドン間で復活した。我々はベニスを見物後、同地のサンタ・ルチア駅一七時三〇分発のオリエント急行でロンドンに向けて出発した。

この列車は中央に食堂車などを五輛と客車一輛の一六輛編成。車体の外面は濃紺地に金色の枠線と中央に紋章が輝き、日本の宮廷列車を彷彿させる。客車の大部分はツインの寝台兼用の個室で、内部には一寸した化粧設備があるなど、一九二〇年代の鉄道黄金時代に、工芸の粹と贅を極めた豪華なものである。せめて一晝夜だけ王侯貴族になった気分。

小雨に煙るベニスを定刻に発車。三時間後ミラノに着く。夕食のため食堂車に入る。高級レストラン風で給仕人も正装に侍る服装。料理は添乗員が見繕った定食。悠長なフランス式食事が終わったのは一二時頃。個室に戻り眠る。この間シンプロントネルをぬけ、スイスのローザンヌから南仏は夢路の裡。翌朝八時頃パリ着。停車中に車掌をいれ列車をバ

ックに記念撮影。お礼に日本の記念切手を贈呈。フランス北東岸からフェリーでドーバー海峡を渡り、南イギリスのフォクストンへ、再びパトラー式展望車の豪華列車で、車中でケーキとコーヒのサービスを受け、ケント地方の田園風景を楽しむ。ロンドン近くだが草原に牛や羊を放牧しておる。夕方ビクトリア駅に、一夜大名の旅もこれでエンド。

### 峡の人々

井 上 ひろし (高知)

私の住んでおります伊野町から車で約三十分、仁淀川の支流に沿って遡って行きますと中追という人口二百五十名程の山腹に散在した集落がございます。

昔、長門壇の浦で敗亡した平家の落人の隠れ里だったという伝説もありますが、剣しい山々に囲まれた僅かの耕地から麦や黍・大豆・蒟蒻・椎茸・紙の原料など細々と生産する山里でございます。

そんな所でございますから山々の麓から集って流れる清流は、滝となり淵となり岩を噛み春夏秋冬それぞれ異った景観を呈する佳境でもございます。

ここに目をつけた人がございまして、谿と谿に挟まれた僅かの平地や峻しい山腹を拓いた狭い土地に、武道々場を開き、自然の流れを利用いたしまして水泳場・養魚場・釣堀などを作り、昔からあった草葺屋根の民家を移して庵や亭をしつらえ、「修練と観光と憩いの中追溪谷」を造ったのでございます。

拓かれた峡の人々はうまくこれに乗ったように、四季々々の山菜等を提供するのは勿論

のことでございますが、豆腐・蒟蒻・山菜料理なども全部手作りして提供いたしておりますし、観光や休憩の人々の接待なども全部地元

の婦人が担当しているのでございます。そんなことは全国どここの観光地でもあることだと、ご指摘のことと存じますが、私もここで中追溪谷の宣伝をするつもりは毛頭ございません。唯、ある一つの出来事をお話し申しあげたいのでございます。

それはさきの程、退職者の会の俳句連衆とここに吟行いたしました時のことでございます。句会も終りやれやれと好きな者同志がま

ず一献とお酒を注文いたしました。ところが二回目の注文に出されたのがなんと水のようにうすい酒ではありませんか。怒り心頭の幹事が接待のおばさんに噛みついたことは勿論でございます。おばさんの言い訳によりまして、お茶用の薬罐と酒を燗する薬罐を取り違えたとのことございました。

いまだき市井では、お客が少し酔ってまいりますと爛冷しの酒と間違えたり、一級酒の注文を二級酒と間違えたりする業者の悪い例は、数多く経験しております。腹立たしく思

ったことでございますが、酒と水を間違えられたことはじめてでございます。

「お客が気付けば取り替えればそれで済む」と考えるほど峡の人々も悪賢くなったのでございましょうか。

酒と水の区別も判らない程の素人の素朴さなのでございましょうか。

私は、この美しい峡に住む純朴な人々は、将来とも是非後者であって欲しいと祈らずにはおられなかったのであります。

### 馬 齢

越久田 保之 (徳島)

あけまして、おめでとうございます。

鳥兔々々 また一ツ馬齢を重ねました。

町を歩いていると、数年ぶりの旧友にばったり出会うことがある。その顔をみて思わず「老けたなあ」と思うのである。いくら気安

い友とはいえず、「年齢のわりに老けたじゃないか」とはいえず、しげしげと顔を見つめて「元氣かね」とか何とかいってごまかしてしま

う。先方が仕事の関係での知人であれば「ご無沙汰しています。お元氣ですか」と紋切型のあいさつをして、近況などを話し合う

ことになる。

友人でも知人でも、久しく会っていない人と偶然出会うと誰でも一瞬「老けた」と感ず

る。当方が「老けた」と思うように、先方も同じように思っているに違いない。殊に中年を過ぎての顔は、光陰矢の如しで、あつという間にシワが増え、頭髪は白くなるか、無くなるか、始末が悪い。歳月の経過とともに人の顔も、めっきり変わってくる。それだけ年輪をふむわけである。

人の年輪は、顔かたちの外形的なものだけでなく、過去の経験、心の持ち方などにより目に見えない何物かが備ってくるものである。

この内面的な年輪の充実こそ大切である。久しく会わなかった友の顔をみて、ただ「老けたなあ」と年の経過に感嘆するのは、外形だけをとらえての感覚に過ぎない。

その人の「ひととなり」は、お互いに言葉を交わしているうちに、じんわりとにじみ出

てくるものである。その日暮しの人生を歩むことなく、確たる目的を持った人生を送ってこそ、その人に魅力のある個性美がにじみ出るものでなからうか。馬齢を重ねて、しみじみ思うのである。

### 続・鷹渡る

大 西 瓶 子(高知)

昨年今日(十一月三日)は、抜けるような青空で澄み渡った山の彼方に太平洋の碧い海が輝やいていた。ところが、今朝は相憎の曇り空で茫雲が覆って、空も海も区別がつかない程の日和であった。

昨年登った時とは気象条件がすっかり違うので、いささかがっかりして「鴻の森」の頂上に佇っていた。

総勢三十六人。昨年の鷹の渡りの話を聞いて初めて集まった人達が大半で、一同は東の空を見あげて、二十分、三十分と待って、いらいらしてくるのに、いっこうに鷹は現われない。そのうち一人が、今日は「駄目かナー」と嘆声をもらすと、昨日も来たと言う野鳥の会の人達が、天気がよかったせいもあって午前中に差羽(さしば)など約八百羽も渡ったから、今日もその残りが必ず渡りますよとの話に励まされて待った。

その時誰かが突然「ア、来た、来た」と云う声に指す方を振向くと一羽の鷹が山の中腹を低くかすめて西の空へ消えて行った。瞬時の出来事である。しばらくその行方を追っている、一羽又一羽、二羽と渡って来て、今度は頭上はるかに上昇し旋回し初めた。空を仰いであれよあれよと鷹を見た嬉びに

歓声をあげている人達である。

去年のように休む間もなく渡って来て、仰ぎ疲れたのに比べると嘘のような話である。それでも鷹の渡りを見た安堵で城址の草叢に昼食をとる者、木の根に腰を掛けて待つこと数時間、時折渡ってくる鷹に一応満足した安らぎで山に心を残しながら、空を振り返り、振り返り下山した。

鷹の渡りは新しい土佐の風物詩として脚光を浴び定着した季節であろう。

忽然と空より湧きて鷹渡る 井上ひろし  
深空に見失せてまぶし鷹渡る森岡 美保  
竜胆や海へ傾斜の鷹の道 田内 露風  
雲湧ける日の渡り鷹低く飛ぶ 久保内鏡子  
鷹渡るほかに影なき海と空 大西 瓶子

### 皿の話

馬 木 重 美(松山)

皿よりダンゴという時代を長く経て来ましたが、この頃は、少しばかり皿も気になるようになりまして。たぶん、年のせいだと思えます。それでヘンな話になりますが、今出来の皿と、明治、大正に出来たそれとの比較を書いてみようと思えます。デパート等の陶器売場で売られている皿は見た目には、本当に、きれいです。しかし、長く部屋に飾ると何だか飽きかきそうです。色彩も化学薬品ですから、どぎつい感じさえます。それにくらべ、明治、大正ものは、手書きで、実におおらかに画かれ、飽きのこない情緒豊かなものをよく見かけます。そして、丈夫に造られ、しかも、今のものより市価が安い。何だか不思議にさえ思います。昔の皿がなぜ安い

のだろうと思われるでせよ、今出来は、人件費、材料費、燃料費、そして流通機構等を通して高価になるのでしょうか。

では、明治、大正の皿が、たやすく、そして手頃な値段で入手できるのだろうか。

結構四国には、まだあるようです。町の骨董屋、古道具屋等。若し、思いつくところがお有りでしたら、何時か、覗いて見られると思いがけなく面白い凶案の絵皿が発見できるかもしれません。若し、首尾よく、手に入れたら、部屋に飾ってみて下さい。今出来のものより、きっと、お気に入りに思えます。

### ミネラルウォーター

梶 原 照 秀(徳島)

昔徳島にはどの家にも井戸があった。朝夕の店さきの撒き水や洗濯、風呂水などに使われ、飲料水は眉山の麓から湧き出る水にたよっていた。殊に大滝山の錦竜水や瑞巖寺の水などは、荷車に積まれ市内を売りあるかれた程である。これは私の少年時代の話である。昨今、これらの水は一向に湧いてこなくなっている。なぜだろうか。昔を懐かしく思うもの一つである。

一方、河川や地下水の汚染がすすみ、臭い水が鼻をつく。自然うまい水への志向が強くなり、ミネラルウォーターのブームがおこってきた。家でウイスキーの水割りに使われるのももっぱらミネラルウォーターである。

今年八万キロリットル以上売れる見とおしと言われ、これは国民一人当たり瓶二本分を飲む勘定になる。



昔は水はただ同然のものであったが、今や水に値をつけられ、大っぴらに売られる時代になってきたが、眉山の麓から湧く自然の銘水が荷車で運ばれ売られた昔と思ひ合せると、一入の感無きを得不い。水は資産であり商品となる。

徳島県においても、吉野川の水を愛媛、香川両県に分水し、それによって他の恩恵にあずかっているが、水を元手に資産や金をかせぐ時代になってきている。

ミネラルウォーターが益々普及し、今にわれわれの生活と切り離せないようになる時期が来るのではないかと思う。

群馬国体で、赤城水の缶詰が配られているのをテレビで見ながら考えさせられたことがある。

西国三十三ヶ寺巡り

後 藤 稔(大洲)

西国三十三ヶ寺巡拝を思い立ち、小田原の次男が車で帰省したので、その帰り車に便乗し五月下旬松山港をフェリーで出発した。

夜明けに神戸港へ上陸。高速道路を大垣まで走りここで次男とわかれた。いよいよ一人旅。大垣から樽見線に乗ったが天気も良く車中には三十三番札所谷汲山草巖寺の参拝者が大勢いて心強い。寺は風格ある建物で、結願札所のため納経所は満員で、昼食どきやっと納経を終えた。帰りは岐阜に寄り米原で宿泊。三十二番観音正寺は山寺なので早立ちして一番列車に乗り能登川町でバスに乗り替え、寺の登り口に出たが強い雨で参拝者は無く、傘を借り山道を汗と雨で全身濡れて参拝を済

ませた。つづく三十一番長命寺も山寺。能登川町へ一たん戻りバスで長命寺へ向う。荷物を預けて石段を上る。小雨に煙る琵琶湖を樹間に垣間見ながら一心に上り、ようやく静寂な本堂にたどり着き参拝した。竹生島の三十三番宝巖寺は強風で船が缺航したので、あきらめて京都に出て宿泊。明くれば上天気。先づ清水寺に参り、六波羅蜜寺。今熊野観音寺、六角堂に詣でて大津へ行く。疎水を抜けて三井寺に参拝、石山寺、岩間寺にお参りして今日の日程をすませた。この日再び京都に泊り早立ちして一番札所深雪山醍醐寺へ。胸つき十六丁の急坂を歩むと杉、松、檜の原木がそびえ、小鳥が鳴く。全身に汗が湧く程登ったとき山城のようなお寺が見えた。醍醐寺は大きい。納経して下山にかかったが下りは楽で足取りも軽い。

それより三室戸寺、行願寺に参拝してまた京都に泊り、翌日は大阪へ出て、阪急宝塚線の中山寺に詣でて今回の参拝を終えた。

帰途の連絡船の中で急ぎ足で廻った寺寺を思い浮べ、来年は残りのお寺を巡ろうと心に誓った。

表紙のことは

莊野 丹秀(内海)

大黒さまに鼠を描いてみました。子は、十二支の最初に来るも、私も次の子年まで健康でありたいものです。

紙上をかりて、皆様に新年のごあいさつ申し上げます。

投 稿 規 定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
  - 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
  - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 二月一〇日
- 原稿の取扱についてはお任せねがいます。

編 集 後 記

▽皆様ご健康で輝やかしい新年をお迎えなさいましたことと存じます。おめでとうございます。今年も手をた携え元氣一杯過ごしてまいりたいと存じます。

▽昨年は年金の統合があり、スライドは見送られ、共済年金受給者にとって試験の一年でした。この会報がお手許に届く頃には、選挙も終り国民の審判が下っているでしょうが、私たちが大所、高所に立って審判を受けたあの行方を見守らなければなりません。

▽それにしても今年はいよいよ年金情報をお届けできることを祈ってやみません。(渡部)

電友会四国連合会会報 第四五号

昭和五九年一月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四丁目(千七九〇)

四国電気通信局内

電話(〇八九九)三六一二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社

# はじめまして、ハウディです。

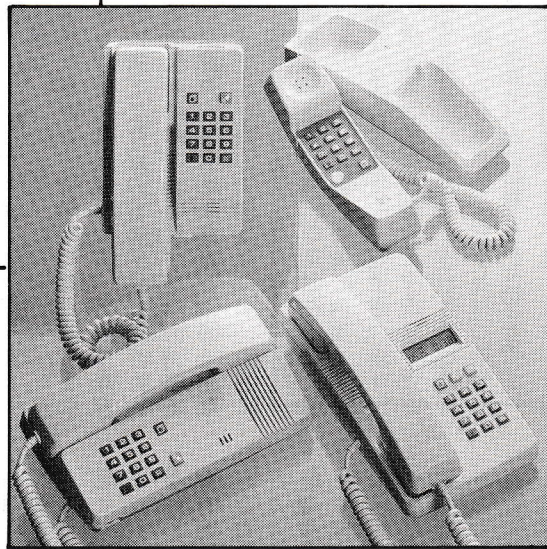
デザインで選ぶ  
プッシュホン

# ハウディ

シリーズ

ちょっと未来を感じさせる  
プッシュホン ハウディ・シリーズ  
デザインと機能の6機種から  
お選びいただけます。

からやかタッチのプッシュホンに、  
デザインも機能も一新した  
新しいシリーズが登場。  
先進のエレクトロニクス技術が、  
コンパクトでスッキリとした  
デザインのバリエーションを生み出した。  
あなたの部屋にあわせて  
自由にお選びいただけます。



●ハウディ・シリーズ 機能・使用料一覧

機種	機能						寸法(mm) (幅×奥×高さ)	重さ(g)
	再ダイヤル	トーンリング 音量、音色 切り替え	オンフック ダイヤル	スピーカ 受話	時計	保留音		
ミニタイプ	○	○					232×70×83	670
ウォールタイプ	○	○	○	○			160×118×56	520
ワイドタイプ	○	○	○	○			126×217×81	690
スリムタイプ	○	○	○	○			227×125×81	680
スリムタイプ (時計付)	○	○	○	○	○		227×125×81	750
スリムタイプ (時計・保留音付)	○	○	○	○	○	○	227×125×81	770

区分	月々の使用料						工事費	
	ミニタイプ	ウォール タイプ	ワイドタイプ	スリムタイプ	スリムタイプ (時計付)	スリムタイプ (時計・ 保留音付)	新設の場合	プッシュホン 以外の電話 機から取り 替える場合
本電話機	650円	750円	750円	750円	850円	900円	2,000円	通常のプ ッシュホンから 取り替える 場合 2,000円
親子電話	550円	650円	650円	650円	750円	800円	2,500円	1,000円

- 新規に電話をひく場合の費用は含まれておりません。
- 使用料には加入電話の基本料は含まれておりません。
- 短縮ダイヤルサービスをご利用の場合は、月額600円が加算されます。

もっとわかりあえる、明日へ

 電電公社